

高退協文芸

俳句

花蘇鉄の日々

M・Y

母二人逝きて静かな初盆会
線香と読経のかおり秋彼岸
鰯巻かえらぬ義兄を今日も待つ
山の駅孫子見送り夏終る
父母のもとへかえろ流れ星



短歌

第64回日本母親大会 in 高知

叶風淑子

全国から土佐へ八千三百人はじける平和と女性の力
(8月25・26日の延べ人数)
オーピングは清深太鼓とよさこい踊り高校生も子どもも光る
九条の力と改憲阻止を説く講師の熱弁きわだちており
(渡辺治氏)

花火

田上悦子

臨場感さすがの写真「高知民報」の日本母親大会 in 高知
一瞬がいの方の花火は短歌に似てこころに刻むその一瞬を
四度目のキーウィの国をかの山を夢見て歩くこの階段を
(「キーウィの国」はニュージーランド)
ささやかなる願い

山本晶子

これからは自分のために生くと言う七十歳の教え子ふたり
自分のために生きゆくことのできる日はいつ来るだろういつも追われて
一日に七時間寝たし新聞を毎日読みたしささやかなる願い

詩

タンポポ一輪

西村雅人



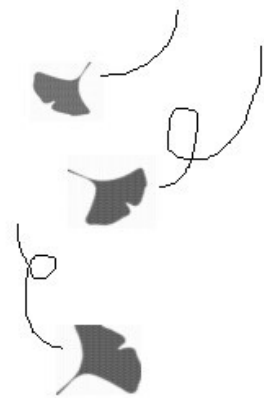
雨あがりの朝
公園の金網フェンスの外側の
せまい日かげの土のうえ
あざやかな小さな黄色
咲き遅れたタンポポが一輪
たよりなく 風にゆれている
昨夜の暴風になぶられ
激しい雨に打たれて
小さな花びらたちは てんでばらばら
まるで
スノーピークの友だちの小鳥の
くしゃくしゃの頭みたい
きみの仲間たちは みんなな
羽毛をつけて飛んで行ったよ
きみだけ たったひとり
こんな日かげで たひとり
風にゆれているんだね

川柳

帆傘抄

小澤 幸泉

それぞれに異父弟妹の生き逝きし
義兄の夢戦さのみ込む北の海
逝く深く生きて静かなデスマスク
東京へ戻る気はない戻れない
白昼夢近い最期とおい過去
ひたすらにただ飲むだけの屋台酒
酒消えて十九年の誕生日
夏風邪を残して過去は消えてゆく



原稿を募集しています

分野は問いません。個人のこと、社会のこと、集会等の報告、詩・俳句・川柳・随筆等の文芸、等々。積極的な投稿をお願いします。

◎郵送 〒780-0850 高知市丸ノ内2丁目1-10
高知城ホール高教組気付

◎メール (PC)
大川法由記 (担当) norinori415@me.pikara.ne.jp